

みやま 共同作業所 通信

みやま共同作業所広報紙

第3号

2003.12.10

発行
美山町社会福祉協議会
〒601-0751 美山町島 町民センター内
TEL.0771-75-1660 FAX.0771-75-0829

京都とっておきの芸術祭



今年も入賞

今年は絵画部門で佳作。パピエ・コ
シで創った楽器。とても楽しい作品
になりました。江藤先生に感謝。

所長雑感

竹内 晶

昨年に引きつづいて今年も「京
都とっておきの芸術祭」に入賞を
した。昨年が知事賞だから後がし
んどい。そして、「障害者の日」
啓発ポスター作文コンクールでも
作文の部で優秀賞を頂き、国や府
から表彰された。正直いってとて
もおどろいている。

利用者の皆さんにとっては大き
な励みだ。

作業所での体験事業を通して自
信が付き、経験も豊かになった。
とてもいいことだ。

社会福祉も保護と救済から自立
支援に変ってきた。自立支援とは
衣食住だけではない。衣食住だけ
なら、保護的発想でも可能だ。自
立支援には「生活を楽しむ」部分
が含まれるべきだと私は思う。

地域で暮らす障害者が、等しく
人生を楽しめる社会が来ることを
願っている。共同作業所がそのお
手伝いをできるなら誠に光栄
だ。

ールで入賞しました

京都府「障害者の日」ポスター作文コンクール優秀賞
内閣府「心の輪を広げる体験作文」佳作

自信がついて
生きることが楽しくなった



下 東 清 野

私の作業所は平成12年に出来ました。それまでは、美山町には作業所がなく、地域で暮らしているわたしたちには、行く所がありませんでした。

私は、関節リウマチになってからもう40年になります。初めは軽かったのですが、京都で働いていました。だんだんと年とともに病気も悪くなり、入退院を繰り返しておりました。重度の障害になり、今日まで自宅でお世話になっています。

作業所が出来るまでは、外に出る気持ちにはならず、月に2度のリハビリ教室に出かけていましたが、心から楽しい良かったと思った事は、少なかった様な気がしました。

私は、作業所が出来る前から、準備会の皆さんや、社協さんから、「作業所は、障害者の働く場、生活の場、仲間づくりの場」と、熱心に聞かされま

した。この時は、「本当に私が、身体・知的・精神3障害の人とうまくやっっていくことが、出来るだろうか?」「体がついて行くだろうか?」不安と、期待で一杯でした。でも、いま病気が安定しているときにこのチャンスを利用しては、外には出られないような気がして、家にばかりいると暗い表情の自分が嫌になるから、昔の明るい自分もどりたいと言う気持ちがあつたから、勇気をふるって入所する事にしました。

作業所が始まり最初は何がなんだか分からないまま、所長さんや指導員の皆さんの言われるとおり、1年2年と過ぎて来ましたが今では、「ここなら安心して働ける」「ここを通して、社会参加出来る」「ここに来れば仲間がいる」「ここにいっぱい初めての体験も出来る」自分には出来ないことも

沢山ありますが仲間の人に助けをもらいながら、今日出来なかったことが明日には出来る喜びも知り、毎日挑戦して自分の喜びに変えて行きたいと思えました。作業所が出来て苦痛で休みたいと思つた日は一度もなく、休んだときにはとつても気になるぐらいで、「明日はがんばるぞー!」と言う気持ちで働いて行きたいと思っています。作業所の仲間は、初めは8人でしたが、今では15人に、なりました。

入所して悲しいこともありましたが、4ヶ月目で1年2ヶ月の入院生活をしました。とても悲しい思いもして不安なこともありましたが、作業所の仲間がよくお見舞いに来て下さり、心が落



体験作文が各コンク

ここに紹介します



ち着いたことがよくありました。これも、入所していたからこそ、苦しい日々も楽しく明るく、入院生活が送れたのだと思います。退院してから、4ヶ月目には、また作業所に通うことができ、仲間の人が温かく迎えてくださいました。

初めての体験でのお買物。京都ファミリーに行き、最近自分で買物する事もなかったので、昔を思い出しました。

昨年は、もっと大きな夢が実現しました。1つは海です。福井県の小浜に行き船に乗り、蘇洞門めぐりをしました。私は、船に乗ただけで十分だと思っていましたから、船の一番上のデ

ッキまで、3人の職員にかつがれ上まで行く事ができ、あまりの素晴らしさに大きな声をあげてしまい感動しました。

もう1つ実現できた夢は、一泊旅行です。この1泊旅行の話がありましたときには、「自分は、旅行なんて、とつても出来ません。行きません。」色々なことを言って所長さんや、指導員さんの気持ちも知らず困らせていました。私の体では、とつても無理だと自分で決めてしまい、心を閉こうとは、しませんでした。でも1つ1つ分りややすく話して下さる内に不安な気持ちやがやわらんで来て素直な気持ちで、「旅行に連れて行ってください。」と、お願いしました。

旅行に行く数日前から、ワクワクして色々なものを支度しました。岡山県の、今テレビでやっている武蔵の里に、4時間かかって行きました。宿に着き、温泉に入ることになりましたが、私は家族風呂に入れるようにして下さいました。自宅ではシャワーしか出来ませんでしたので、お湯の中でゆつくりつかうことがなかったのです。だから1度でいいからゆつくりとお湯に入った実感が欲しかったのです。お風呂に入るときも、人の助けをかりながら、お湯の中に入った時の気持ちの良かった事は、言葉で言い表わすことは出来ませ

ん。感激して少し涙が出ました。露天風呂も入りました。

夢のような時間が過ぎて行き、足のほうもいつまでもボカボカと暖かく軽くなった様に思いました。夜もよく寝れて、早朝一般のお風呂にも入ることができ二重の喜びでした。

2日目は、岡山城と後樂園に行きました。又、4時間かけて帰って来ましたが、普通だったら横にならないと駄目な私なのですが寝ることがもつたいたはと思いつつも「しんどいなあ。」と、思うこともなく無事に帰って来られました。次の日も、何も無かったかのように、作業所に行きました。

どこへ行くにも初めてばかりで、夢のような日々を過しました。

私の人生も、又大きく広がりました。一歩前進することはとつても勇気がいりますが、私のような障害者でも旅行をした事で、自信がとき体が動くかぎりどこへでも行きたいと思うようになりました。障害者の皆さんが勇気を持って外に出られることを望んでいます。私たちは仲間づくり・助け合いを目標に1人でも仲間が増えみやま共同作業所の輪が大きくなることを願っています。

5月~
10月の

活動報告



5月

アルミ缶の
リサイクル
(美山中の皆さん)

5月
調理実習



5月18日

障害者
ふれあい広場



9月14日

京都府障害者
スポーツ大会



10月18日

やすらぎホーム
歌の発表



10月1日

美山町障害者
スポーツ大会



びわ湖博物館
見学

仕事の風景



10月26日

フライング
ディスク大会

